

特集

空飛ぶ救急治療室!!

ドクターヘリ!

ドクターヘリの目的

救急の専門医師や看護師が搭乗したヘリが現場で治療を開始することで、救急搬送時間の短縮による救命率の向上や後遺症の軽減、へき地における救急医療体制の強化、災害時の医療救護活動の充実を目的としています。

参考資料 平成21年度救急出動数

ドクターヘリ H21.10.12 ~ H22.3.31		救急車
交通事故	3件	12件
一般傷病	1件	20件
運動競技	1件	4件
施設間搬送	2件	46件
急病		80件
労働災害		2件
合計	7件	164件

ドクターヘリの運用が開始
 昨年10月12日から道北圏でもドクターヘリの運用が開始されました。ドクターヘリは救急専門の医療機器を装備したヘリコプターで医師・看護師が同乗して救急現場に向かい、現場から救急救命センターに搬送するまでの間、患者にいち早く救命医療を行うことができる専用ヘリコプターです。本町に関しては要請してから7分から9分以内にドクターヘリが到着し、運用開始から平成22年3月末現在のドクターヘリの要請は交通事故が3件、一般負傷が1件、運動競技が1件、施設間搬送が2件で、合計7件でした。

ドクターヘリのQ&A

Q1. ドクターヘリはどこから飛んでくるの?

A1. 旭川赤十字病院の屋上で待機して飛んできます。

Q2. ドクターヘリは誰が呼ぶの?

A2. 消防が通報を受けて、国が定めた基準により判断し消防通信室より要請します。

(例) 大出血を伴う外傷、呼吸困難を伴う外傷、体表面積の1/3以上のやけど、3階以上の高さからの転落事故、自動車事故、列車衝突事故などがあり、距離的にも救急車よりもヘリコプターを使用する方が時間を短縮出来る場所であること。

Q3. ドクターヘリはどこに降りるの?

A3. 消防で現地調査し、離発着できる基準を満たしている場所が本町には14カ所あります。主に学校とか運動公園など広い場所となっております。



ドクターヘリ町内ランデブーポイント(着陸場所)

和寒小学校グラウンド	朝日排雪場
旧中和小学校グラウンド	総合運動公園グラウンド
旧西和小学校グラウンド	総合運動公園駐車場 (冬期着陸可能場所)
旧三和小学校グラウンド	和寒町公民館南側駐車場
和寒中学校グラウンド	旧和寒町営球場
南丘多目的グラウンド	防雪センター
東山スキー場	東山スキー場第2駐車場



交通事故による搬送

消防からお願い
 緊急時には、ランデブーポイント以外の場所にも着陸することがあります。ご協力をお願いいたします。